

【新改訳 2017】 マタイの福音書 13 章 1～52 節

A

- 1 その日、イエスは家を出て、湖のほとりに座っておられた。
- 2 すると大勢の群衆がみもとに集まって来たので、イエスは舟に乗って腰を下ろされた。群衆はみな岸辺に立っていた。
- 3 イエスは彼らに、多くのことをたとえで語られた。「見よ。種を蒔く人が種蒔きに出かけた。
- 4 蒔いていると、種がいくつか道端に落ちた。すると鳥が来て食べてしまった。
- 5 また、別の種は土の薄い岩地に落ちた。土が深くなかったので、すぐに芽を出した。
- 6 しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。
- 7 また、別の種は茨の間に落ちたが、茨が伸びてふさいでしまった。
- 8 また、別の種は良い地に落ちて実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍になった。
- 9 耳のある者は聞きなさい」。

B

- 10 すると、弟子たちが近寄って来て、イエスに「なぜ、彼らにたとえでお話しになるのですか」と言った。
- 11 イエスは答えられた。「あなたがたには天の御国の奥義を知ることが許されていますが、あの人たちには許されていません。
- 12 持っている人は与えられてもっと豊かになり、持っていない人は持っているものまで取り上げられるのです。
- 13 わたしが彼らにたとえで話すのは、彼らが見てはいるが見ず、聞いてはいるが聞かず、悟ることもしないからです。
- 14 こうしてイザヤの告げた預言が、彼らにおいて実現したのです。『あなたがたは聞くには聞くが、決して悟ることはない。見るには見るが、決して知ることはない。
- 15 この民の心は鈍くなり、耳は遠くなり、目は閉じているからである。彼らとその目で見ること、耳で聞くことも、心で悟ることも、立ち返ることもないように。そして、わたしが癒やすこともないように』。
- 16 しかし、あなたがたの目は見えているから幸いです。また、あなたがたの耳は聞いているから幸いです。
- 17 まことに、あなたがたに言います。多くの預言者や義人たちが、あなたがたが見ているものを見たいと切に願ったのに、見られず、あなたがたが聞いていることを聞きたいと切に願ったのに、聞けませんでした。
- 18 ですから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。
- 19 だれでも御国のことばを聞いて悟らないと、悪い者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪います。道端に蒔かれたものとは、このような人のことです。
- 20 また岩地に蒔かれたものとは、みことばを聞くと、すぐに喜んで受け入れる人のことです。
- 21 しかし自分の中に根がなく、しばらく続くだけで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。
- 22 茨の中に蒔かれたものとは、みことばを聞くが、この世の思い煩いと富の誘惑がみことばをふさぐため、実を結ばない人のことです。
- 23 良い地に蒔かれたものとは、みことばを聞いて悟る人のことです。本当に実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます」。

C

- 24 イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。
「天の御国は次のようにたとえられます。ある人が自分の畑に良い種を蒔いた。

25 ところが人々が眠っている間に敵が来て、麦の中に毒麦を蒔いて立ち去った。

26 麦が芽を出し実ったとき、毒麦も現れた。

27 それで、しもべたちが主人のところに来て言った。『ご主人様、畑には良い麦を蒔かれたのではなかったでしょうか。どうして毒麦が生えたのでしょうか。』

28 主人は言った。『敵がしたことだ。』すると、しもべたちは言った。『それでは、私たちが行って毒麦を抜き集めましょうか。』

29 しかし、主人は言った。『いや。毒麦を抜き集めるうちに麦も一緒に抜き取るかもしれない。』

30 だから、収穫まで両方とも育つままにしておきなさい。収穫の時に、私は刈る者たちに、まず毒麦を集めて焼くために束にし、麦のほうは集めて私の倉に納めなさい、と言おう。』

D

31 イエスはまた、別のたとえを彼らに示して言われた。

「天の御国はからし種に似ています。人はそれを取って畑に蒔きます。

32 どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなって木となり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るようになります」。

33 イエスはまた、別のたとえを彼らに話された。「天の御国はパン種に似ています。女の人がそれを取って三サトンの小麦粉の中に混ぜると、全体がふくらみます。」

E

34 イエスは、これらのことをみな、たとえで群衆に話された。たとえを使わずには何も話されなかった。

35 それは、預言者を通して語られたことが、成就するためであった。「私は口を開いて、たとえ話を、世界の基が据えられたときから隠されていることを語ろう。」

36 それから、イエスは群衆を解散させて家に入られた。すると弟子たちがみもとに来て、「畑の毒麦のたとえを説明してください」と言った。

37 イエスは答えられた。「良い種を蒔く人は人の子です。

38 畑は世界で、良い種は御国の子ら、毒麦は悪い者の子らです。

39 毒麦を蒔いた敵は悪魔であり、収穫は世の終わり、刈る者は御使いたちです。

40 ですから、毒麦が集められて火で焼かれるように、世の終わりにもそのようになります。

41 人の子は御使いたちを遣わします。彼らは、すべてのつまずきと、不法を行う者たちを御国から取り集めて、

42 火の燃える炉の中に投げ込みます。彼らはそこで泣いて歯ざりするのです。

43 そのとき、正しい人たちは彼らの父の御国で太陽のように輝きます。耳のある者は聞きなさい。

D'

44 天の御国は畑に隠された宝のようなものです。その宝を見つけた人は、それをそのまま隠しておきます。そして喜びのあまり、行って、持っている物すべてを売り払い、その畑を買います。

45 天の御国はまた、良い真珠を探している商人のようなものです。

46 高価な真珠の一つを見つけた商人は、行って、持っていた物すべてを売り払い、それを買います。

C'

47 また、天の御国は、海に投げ入れてあらゆる種類の魚を集める網のようなものです。

48 網がいっぱいになると、人々はそれを岸に引き上げ、座って、良いものは入れ物に入れ、悪いものは外に投げ捨てます。

49 この世の終わりにもそのようになります。御使いたちが来て、正しい者たちの中から悪い子どもをより分け、

50 火の燃える炉に投げ込みます。彼らはそこで泣いて歯ぎしりするのです。

B'

51 あなたがたは、これらのことがみな分かりましたか。」彼らは「はい」と言った。

A'

52 そこでイエスは言われた。「こういうわけで、天の御国の弟子となった学者はみな、自分の倉から新しい物と古い物を取り出す、一家の主人のようです。」